

再生エネの長短紹介

東大先端研 岡田教授が講演

県と連携協定を結ぶ
東京大先端科学技術研
究センターの岡田至崇
教授が二十六日、金沢
市鞍月の県地場産業振
興センターで再生可能
エネルギーをテーマに
講演した。県や県産業
創出支援機構が企画
し、企業関係者ら百四
十人が詰めかけた。

岡田教授は再生可能
エネルギーの供給方法
のうち、主に風力発電
と太陽光発電に言及し
た。風力発電は枯渇の
問題がない一方、風向

きや風速に左右される
ため、エネルギーの出
力が不安定になると指
摘。太陽光発電は耐用
年数が二十年以上に及

ぶものの、夜間や悪天
時に発電能力が低下す
ると説明した。

その後、県産業政策
課の担当者らが県など
の実践として、太陽電
池の実証実験に取り組
んでいる例などを紹介
した。

(補原崇仁)



再生可能エネルギーについて
講演する岡田教授(金沢市で)